

校長室からこんにちは

最終号

令和6年3月18日（火）



有難うございました

着任して5年が経ちました。担任時代から数えると、11年間深大寺小学校にお世話になりました。36年前、中学校教員だった私は、小学校教員の新規採用として、深大寺小学校に配属されました。地域の方にとってもお世話になり、深大寺小学校を去る時には「必ず戻ってきます」と夢を語りました。そして、その夢が叶い校長として戻ってくることができました。昭和・平成・令和と時代こそ変われどこの地域の方の深小愛は変わりませんでした。この素晴らしい深大寺小学校で過ごせたことは、卒業する子供たち同様私の誇りです。150周年記念で植樹していただいた八重桜。温暖化でソメイヨシノが卒業式で散った後、入学式に満開となって咲き誇るのが楽しみです。皆様ありがとうございました。

校長先生が変わったら、学年担任の取り組みも変わっちゃうんですか！

PTAの会議でこのようなご意見がありました。

お約束します。今年度同様、次年度も「学年担任制」は以下のように維持されます。

※学年担任制とは「教科担任制+朝の会と給食等のローテーションをし全教員で子供を見る方法」

1 学年の教員全員が担任です（だから固定の担任はありません）

学年の教員全員が3クラス（6年生は2クラス）の担任です。何年か前「誰に相談してもいいと言われると誰に相談していいかわからない」という意見がありましたが、実際に相談をされた方からは「だれに相談しても構わない」というやり方はぜひ維持してほしいとされています。今後も、学級担任は固定せず（勘違いされている方もおいででしたが今年度も固定していません）子供たちの中でいじめがあれば学年全員で対応し、よさも全員で共有します。

2 今年度4月の学校公開で落ち着かなかった1年生・3年生

学年担任制で取り組んでいたから、2学期にはグッと落ち着いて学習に取り組んでいました。元々奇数学年は学級編成なので、子どもたちも友達関係に慣れて落ち着くまで時間がかかるものです。だから、R6の奇数学年もはじめは落ち着きがないと思ってください。しかし、学年担任制によって、ベテランや若手の指導が融合し、必ず落ち着いていきます。

今、全国でこの「学年担任制」へのシフトチェンジがすすんでいます。調布市教育委員会も次年度より校長の経営の中に、この「学年担任制」を入れるよう校長会でも話しがありました。

3 感謝の気持ちの醸成

地域の方への感謝。上級生への感謝。そして、何よりお家の方への感謝。伝統校である深大寺小学校では、同窓会・学校評議員会・関係者評価委員会の承認を経て、この感謝の気持ちの醸成を学校の最重要事項として取り組んでいきます。感謝できる子供は幸せになれます。

最後に 最愛の子供たちへ

今まで、みんなの笑顔でたくさん元気にしてもらいました。ありがとう。校長先生は、笑顔のみんなが大大大好きです。だから、みんなが笑顔でいられるよう応援しています。

今までも・今も・そして、これからも・ずっと、ずっと

大丈夫、空も星もつながっているから

